

5. 生き物たち



アカハライモリ



ウグイ



ウスバキトンボの幼虫



オイカワ



カジカガエル



カワムツ



コヤマトンボ



コヤマトンボの幼虫



サワガニ



ドンコ



ヌマエビ類



ハグロトンボ



ミヤマカワトンボ



シマアメンボ




ニホンアマガエル



ミズカマキリ

6. 観察カード

ふるさと水辺の生き物教室 観察日誌  
6年 名前 行方優実



生き物の名前：カシカガエル  
 大きさ：♀約16cm、♂約15cm、♀約16cm、♂約21cm  
 カシカガエルは目が黒色でその周りに黄色で人間でいう戸穴の白目は茶色であり、色は茶色など変色しやすい色で目立たない色になっている手の先は丸くなくお尻戸穴でこぼこになっている戸穴もあるはらは白くなっている

ふるさと水辺の生き物教室 観察日誌  
6年 名前 菅慎



生き物の名前：ヌマエビ  
 大きさ：2.8cm  
 テナガエビとスジエビしか川にいるのは矢口ながらたけれどヌマエビやヌカエビがいるのは初めて知ったので虫たけひはなとエビのことも調べたいです。

ふるさと水辺の生き物教室 観察日誌  
5年 名前 上野 颯馬



生き物の名前：カワムツ  
 大きさ 10cm くらいのカワムツでした。お尻が黄色いところと赤いところがあるかすに白く、黒いところもいろいろあるかすもおもしろい。カワムツはサンプを食するがわかりました。

ふるさと水辺の生き物教室 観察日誌  
6年 名前 木下 上くるみ

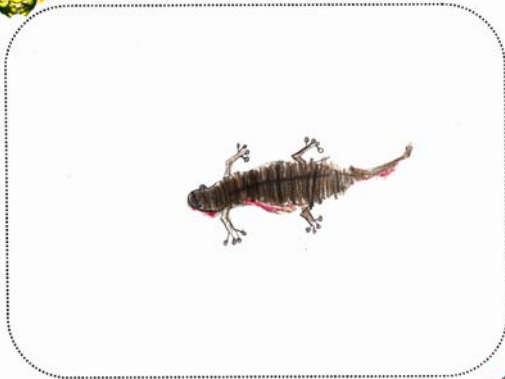


生き物の名前：ドンコ  
 大きさ：5cm  
 ドンコは、5cmでちょっと小さいなと思いました。そして、もようがおもしろいです。私は、ドンコは、泳ぎがおもしろいと思っていましたが、以外に速かったのびっくりしました。頭の上に何かがついてるのがおもしろいと思いました。



ふるさと水辺の生き物教室 観察日誌

4年 名前: 菅天音



生き物の名前 : アカハイモリ

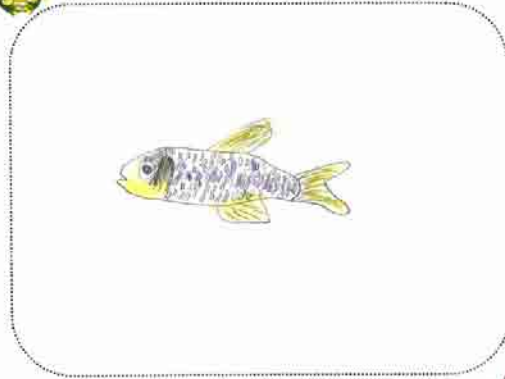
大きさ : 7~14cmでオスよりもの方が大きいと分かりました。おなからは赤色とこす茶だと知りました。

アカハイモリをニヒキつかまえられるのでよかったです。また植物をとったりして遊びたいです。



ふるさと水辺の生き物教室 観察日誌

4年 名前: 森岡知也



生き物の名前 : はや

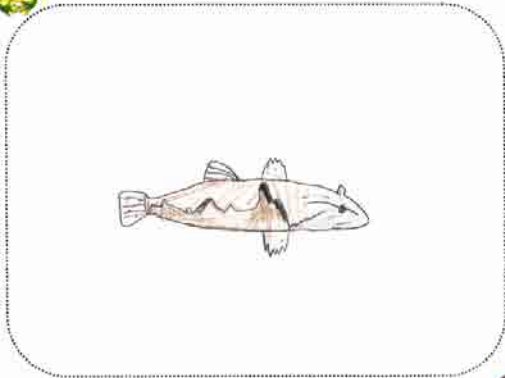
大きさ : 8cm

はやは8cmあるということが分かりました。はやはいろいろな色がまざっているなんてびっくりしました。これからまだ知らない魚を調べたいです。



ふるさと水辺の生き物教室 観察日誌

3年 名前: 菅系吉音



生き物の名前 : ドンコ

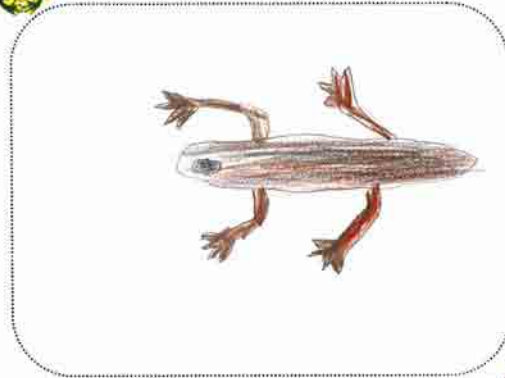
大きさ : 5cm

しっぽのところにもようががありました。もよはますとちゅうまでにはまっすぐな系泉があつてそこにてんてんがありました。こんどは大きいドンコをつかまえてみたいです。



ふるさと水辺の生き物教室 観察日誌

4年 名前: 高橋大和



生き物の名前 : ニホンイモリ(アカハイモリ)

大きさ : 全長 8~10cm

ニホンイモリはカエルに近いがまだとはじめて分かりました。おなかが赤いのでびっくりしました。目が青かったので、そこをおたてすあは三本思っていました。4本あったのでびっくりしました。



# ふるさと水辺の生き物教室



## 《河辺地区の田んぼや水路の役割》



河辺小学校の横を流れる河辺川の上流にある飛石橋の周辺には田んぼが広がり、河辺川から取水した水路が流れています。

みなさんが毎日食べているお米の栽培には、たくさんのお水が必要です。川から田んぼへ水路を通して水を引き、お米がつくられています。

田んぼや水路は、安定した食料を産み出すためのとても大事なもので、決して農家の人たちだけのものではなく、地域全体の財産でもあります。



## 【田んぼや水路の多様な機能】

田んぼや水路は、食料を供給する役割だけでなく、農業が営まれることにより、以下のような農業・農村の環境保全に関わる様々な機能を発揮しています。

### ★地下水かんよう機能

水田にかん水された用水や雨水が、徐々に地下に浸透して地下水を貯えるほか、直接河川を流下するより長い時間をかけて下流の河川にもどされるため、再び下流域で利用することができる。

### ★土壌浸食防止機能

水田に張られた水は、雨や風から土壌を守り、浸食を防ぐ役割があるほか、畑地の作物は被覆効果を発揮するなど、下流域への土壌の流出を防ぐ働きがある。

### ★生物多様性の保全機能

水田や畑には多様な生物が生息しており、自然との調和を図りながら、営農が行われ、水田や畑が適切かつ持続的に管理されることにより、植物や昆虫、動物等の豊かな生態系を持つ二次的な自然が形成・維持され、多様な野生動植物の保護にも大きな役割を果たしている。

### ★良好な景観の形成機能

大地に育った作物と農家の家屋、その周辺の水辺や里山が一体となって醸し出す独特の雰囲気有する景観を形成している。

このように、田んぼや水路は、いろんな役割を通して『人と自然とのつながり』をつくっています。古くから受け継がれてきた農村環境や農業用施設を、農家の方とみなさんの協力で大切に守っていきましょう。

## ※ 事故にご注意ください ※

河川や農業用水路などは、普段は安全に見えても、降雨時は一気に水量が増すことがあります。危険と書いているところには近づかないようにし、増水時の河川などへの立ち入りは十分注意してください。

